

総務、産業、建設常任委員会
報 告 書

令和 5 年 1 2 月 1 2 日

美 里 町 議 会

総務、産業、建設常任委員会

1. 政策研究に関する事項

「公共交通の在り方について」

2. 目的

地域公共交通は、住民の通勤、通学、買物、通院などの移動手段、地域経済を支える基盤として重要である。本町の現状、課題、先進地の取組に学び、検討し政策提言とする。

3. 経過

開催日	内 容
令和5年 3月15日	・調査研究テーマについて
4月20日	・美里町の現状について
5月11日	・住民バス実態調査（本庁舎前より大崎市民病院 往復）
6月1日	・美里町デマンドタクシー利用に関するアンケート調査 （6月19日に鳥谷坂、下二郷3、小島 3行政区） ・先進地視察について
6月23日	・住民バス実態調査（本庁舎前よりJR鹿島台駅 往復） ・美里町デマンドタクシー利用に関するアンケート調査 ・先進地視察について
6月30日	・住民バス実態調査まとめ ・所管事務調査について
7月13日	・アンケート調査まとめ ・所管事務調査視察先の決定
8月2日～3日	・所管事務調査（埼玉県久喜市）
8月22日	・まちづくり推進課との意見交換 ・所管事務調査まとめ
9月1日	・議会懇談会での報告内容について
9月13日	・議会懇談会での報告内容について
11月6日	・総務、産業、建設常任委員会報告書のまとめについて

4. まとめ

住民バス実態調査で確認できたのは路線、時間帯によって利用者の変動が大きいこと。また、町でのアンケート調査による結果も委員会での車内聞き取り

調査もほぼ一致するものであった。要望の多くは運行時刻の変更、土・日運行ということであった。10月の議会懇談会では、南郷地区の住民バス路線から離れた住民への利用も考えてほしいとの意見があった。

デマンドタクシーについては、病院、買物利用が最も多く、住民バス同様の結果で、利用者の多くは75歳以上で、65歳以上と合わせると60%以上と、次に10歳以上の順となっている。利用満足度は、68%以上の高い評価と確認することができた。10月の議会懇談会では、デマンドタクシーの全町への利用を検討してほしいとの意見があった。

課題と捉えたのは、デマンドタクシーの南郷地区外に利用できないこと。利便性向上のためにも、改善の検討はすべきと考える。美里町運転免許証自主返納支援事業申請者には回数券（10,000円）の助成をしているが、住民バス、デマンドタクシー利用者が確実に増加していることから、住民の活動ニーズをどれだけ充足しているか、地区、地域間における公共交通のサービス水準の格差の拡大をしないような計画策定が必要条件と考える。

5. 政策提言

常任委員会において本町、先進地自治体の取組を調査し、先進地視察における、研修、協議の結果、以下のとおり提言する。

- (1) 住民バス運行については、広域移動において乗り継ぎが必要であることから、JR線時刻と合わせたダイヤ編成にすべきである。
- (2) 停留所の適切配置、土・日運行の検討をすべきである。
- (3) 利便性向上と持続的運行を継続させるための検討をすべきである。
- (4) デマンドタクシーの南郷地区外への利用を検討すべきである。
- (5) タクシー会社の存続も含め、75歳以上の高齢者、交通弱者への移動手段の確保として、料金の補助を検討すべきである。